

～よつば訪問看護リハビリステーション～

～よつば訪問看護リハビリステーション～
訪問でのちょっとした話

娘様と利用者様(お父さん)の二人暮らしのお宅への訪問での事です。

インターフォンを鳴らすと娘様がいつも玄関まで出迎えてくださります。「訪問看護ステーションの栗田です」と挨拶すると、毎回決まって「お父さ～ん、よつばのクローバーさんが来たわよ」と毎回利用者様に伝えてくださります。

その言葉を聞くと小さい頃よつばのクローバーを一生懸命探し、見つけた時の幸せな気持ちを思い出します。よつばのクローバーの花言葉は「幸福」。娘様の「よつばのクローバーさんが来たわよ」を聞いたたびに、ちょっと幸せな気持ちになり笑顔がこぼれてしまいます。

いろいろなお宅へ伺っていると利用者様や家族様の方から感謝の言葉や励ましの言葉をかけていただくことがたくさんあります。私はその言葉に励まされ訪問看護を続けることができていると思います。利用者様や家族様からもらう幸せ以上に、よつばのクローバーのような「幸福」を与えられる存在になれる看護師を目指して日々努力をしていきたいと思っております。



看護師 栗田淑江

診もり短歌



ひとり暮らしの老女の愚痴話
今日もまた愚痴をまじえしはなしなど
血脈診つつ目をあわせ聴く
Dr.ねぎし

外来案内

診療科目		月	火	水	木	金	土
午前	認知症外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木・安西 (隔週)	休診
		根岸		一木 (9/11のみ)			
	一般内科	白濱		白濱			
午後(新患のみ)			鈴木		安西		休診

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	午後
8:45～11:30	13:00～15:00	9:00～12:00	14:00～17:00	14:00～17:00

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院

ディケアわかば

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
お電話での予約が必要になります

- ・紹介状
 - ・お薬手帳をご持参ください。
- 予約時間の変更等につきましては、
13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

毎月第一土曜日

蓮田市
認知症カフェ

はすカフェ

蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院

蓮田よつば病院

私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



よつば 通信



9月号



発行日

令和 元年 9月 1日

ディケアわかばからの挨拶

9月とはいえ、まだ夏を思わせる暑い日がございますが、皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。いつもお心遣いを賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は異常なほど、とても暑い夏でしたが、わかばの皆様は暑さにも負けず、お元気にご利用して下さっております。ディケアの畑にてスイカを育て、スイカを6個も実らせた方、病院裏に遊びに来る近所の農家さんのヤギと交流される方、院内でも、マージャンを楽しまれる男性の方々、歌声喫茶のように合唱を楽しまれる方々など書ききれないほど、皆様それぞれ、ご自身の「やりたいこと」を楽しまれております。これから秋がやってきますので、季節に合った活動やリハビリテーションがご提供できるようスタッフ一同日々研鑽しております。

これからも、より多くの方が多くの時間の「やりたいこと」を実現できる支援ができるようスタッフ一同、誠心誠意努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

ディケアわかば主任

竹内規晃



～よつばご飯～



献立

主食: 冷やし中華
副菜: ニラ饅頭
副菜: カニ風味サラダ
デザート: マンゴープリン



※写真は職員食になります。

栄養価

エネルギー: 617kcal
たんぱく質: 25.5g
脂質: 18.1g
塩分: 5.6g
※行事食の為、栄養価は高めています。

夏になると、さっぱりとした冷たい麺が食べたくなりますよね。冷たい麺を食べる事で、より一層「夏だな」と感じるのではないのでしょうか。季節を感じるということは認知症の患者様にとっては良い刺激となります。当院でも患者様に季節を感じて頂くために、夏場には冷たい麺の提供を行っております。冷やし中華・そうめん・冷やしうどん・冷製パスタ等。特に冷やし中華は患者様にも大人気です。

管理栄養士 水野俊





よつば病院看護部の取り組み



看護部 看護研究のご紹介

安全な療養環境づくり～転倒予防に焦点をあてて～

3階病棟

熊谷洋平 後藤薫 手塚文一 堀之内陽子 小藤静香

＜はじめに＞

認知症高齢者は脳神経障害による歩行バランス機能障害や中核症状、行動心理症状などにより転倒の危険性が高い。現在の病棟の療養環境を物理的・運営的・人的側面から改善することによってどのようなことが転倒予防につながるか検証した。

＜研究方法＞

平成30年4月～9月に発生した転倒事例について転倒者の疾患、年齢、転倒発生原因、転倒発生場所、転倒発生時刻について統計をとり、物理的・運営的・人的環境の三側面から改善策を立案し具体策実施前後の転倒発生率を比較した。

＜結果＞

転倒発生時間帯は具体策実施前、実施後共に15時から19時の時間帯の発生が最も多かった。さらに入院してから3日以内の転倒事例が多かった。転倒事例の分析により発熱や苦痛を生じている場合は頻回の立ち上がりや歩行時のふらつきなど転倒を誘発する行動を起こすことが多いことが分かった。病棟内での連絡ノートによる患者情報の共有について、転倒につながる患者の行動はカフアルミ時に最もよく話し合われるため、カフアルミノートを活用する方が効率的であった。認知症者への対応についての勉強会実施後のアンケートより、転倒を誘発する行動心理症状が起こらないよう患者が穏やかに過ごせる環境づくりに努める意識付けが行えた。

＜考察＞

一般病床における平均転倒・転落発生率は2.64%とある。3階病棟の転倒・転落発生率は平均15.72%と高い数値であった。離床センサーの利用は患者の行動開始時に介入でき、転倒予防に有効であった。患者の不調の理解や患者の行動の理由を考え患者の意思を尊重した声掛けや対応が必要であることが分かった。

＜結論＞

患者個人の性格傾向や行動パターンを知る為の観察や情報収集が重要である。その情報を病棟スタッフ全員が共有して患者の思いに寄り添い、患者と行動を共にして患者が落ち着ける環境づくりを目指して継続していくことが今後の課題である。

＜引用文献＞

丸岡尚子, 鈴木みずえ, 水谷信子 (2018) : 認知症看護のIT化ノートによる転倒予防の臨床判断の構造とプロセス, 日本転倒予防学会誌, Vol5, No1, P71.

よつば病院 放射線科からのお知らせ

【身の回りにある放射線】

宇宙には多くの放射線が飛び交っていて、宇宙から地球に降り注ぐ宇宙線は放射線の一種です。さらに、大地には岩石に含まれるウラン等、空気中には岩石から放出されたラドンといったガス等、地球上には多くの放射性物質が存在し、常に放射線を出しています。

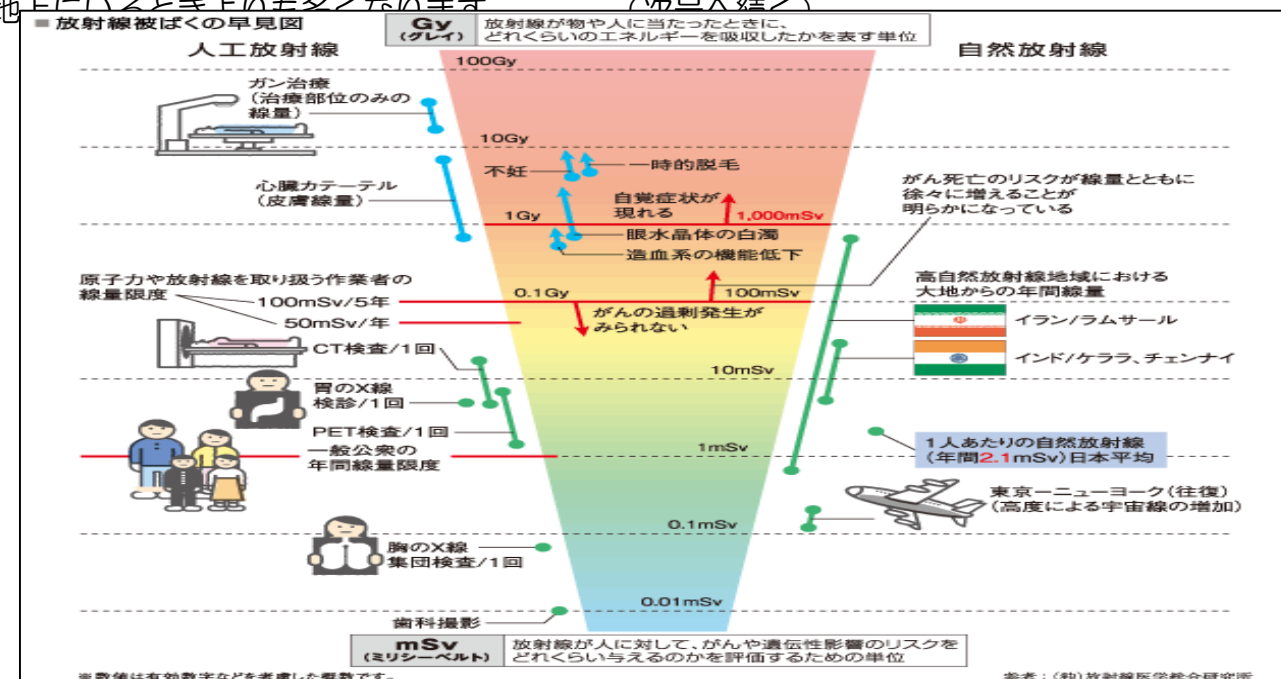
また、食べ物にもカリウム40という放射性物質が含まれています。

カリウムは人間の体には欠かせない栄養素として、野菜などを通して体内に取り込まれますが、そのカリウム約1万個のうち1個が放射線を出すカリウム40です。

つまり、私たちは体の外から内から、日常的に放射線を受けています。

飛行機は空高く飛ぶほど、遮る空気の層が薄くなるため宇宙線が強くなり、乗っている人は乗らない人よりも受ける放射線の量が増えます。

また、トンネル内や地下では大地からの放射線が上下左右から出ているので、人が受ける放射線の量は地上にいるときより多くなります。(カコノ結)



参考文献URL:

ちょっと詳しく放射線 <http://www.kangenkon.org/houshasen/health01.html>

北九州診療放射線技師会 https://www.kart.or.jp/ci_07_faq-page.php?id=id_54f3fe347e426

放射線科

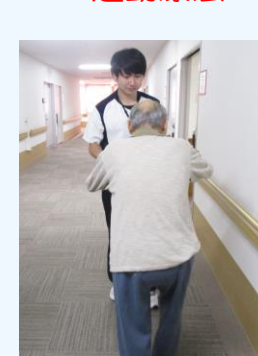
診療放射線技師 中川貴博

～よつば病院作業療法風景～

調理活動



運動療法



作業活動



今月の予定

よつば祭りが9/21(土)に開催されます!

認知症予防教室もお祭り当日に開催いたします。

○誕生会 各病棟

3階 随時おこないます

2階 随時おこないます

○理美容 第1・3木曜日

○調理クラブ 適宜実施

○絵手紙 第3水曜日

○お化粧教室 4階フロア

第2・4木曜日

10:30~11:20

